

【編集後記】

★3月18日（日）代議委員会において多宇邦雄会長が選出され、2018年4月から2020年3月までの新執行部体制が承認されました。また、大濱信泉先生おおはまのぶもと「早稲田大学第7代総長」生誕128年と東京八重山郷友連合会20周年記念事業準備委員会が立ち上がりました。

多宇新会長は白保出身で元早稲田実業初等部校長を歴任され、現在東京白保郷友会会長も努めておられます。

★東京八重山郷友連合会はその前身、東京八重山郷友会から93年を経て現在に至っています。20周年事業を祝うにあたり先人の軌跡を辿り、その偉業を後世に伝える重要性を再度確認する必要があると感じています。その意味から、東京八重山郷友会初代会長が大濱信泉先生であるとの意義は大きいと思っています。今回の事業を成功させる上で多宇新会長が最適任ということで代議員会全員の意向でもあります。

★当会には問題点があります。それは財政問題です。当会の収入は八重山まつりの収入から成り立っています。会計監査報告・提言をご覧ください。役員は八重山まつりを皆様に楽しんでもらおうと“八重山はひとつ”の合言葉の下、試行錯誤しながら毎回運営しています。会員の方々が今一度“一声”かけていただければ幸いです。

幹事長 落合幸雄

